

## 事前面接調査報告

### 1. 事前面接調査の目的

- ・統計データやアンケートに現れない具体的な問題や地域活性化対策の効果と、その阻害要因（逆に波及を促進させた要因等）について、具体的に把握する。
- ・解決方策や多様な担い手の相互連携も含めた支援施策のあり方を検討するため、各種既存施策などの効果向上に向けた改善や新たな施策などの要望・意見について把握する。
- ・直接面接調査時における課題を事前に把握し、その調査精度を高めるために実施する。

### 2. 事前面接調査対象地の抽出

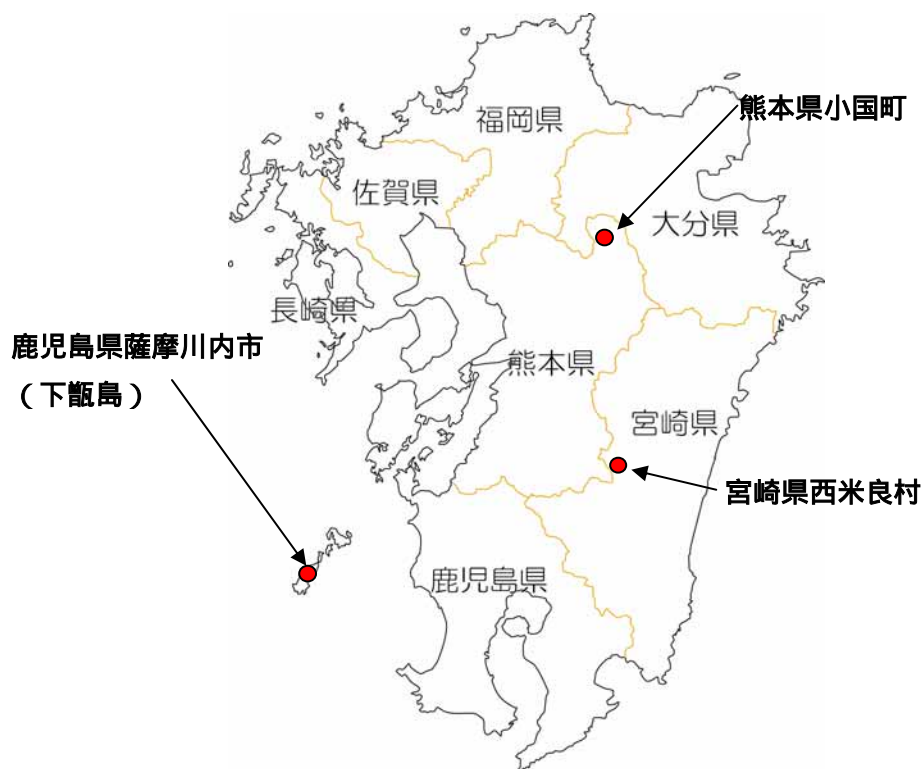
- ・事前面接調査を3地域について実施した。

#### < 事前面接調査対象地の抽出条件 >

第一回検討委員会において、委員より推薦のあった6地域から選出  
市町村アンケート結果より、問題とする集落の存在が明らかになった地区

表 事前面接調査対象地の抽出結果

調査対象地	調査項目（着眼点）	問題・課題分類	調査日
鹿児島県薩摩川内市（甌島）	人口減少・高齢化集落の生活実態について 市町村施策の実施・効果	・条件不利地域における人口減少・高齢化集落（離島） ・地域再生の取組が見られる集落（地区コミュニティ協議会）	平成20年1月30日～31日
宮崎県西米良村	集落の存続・再生に向けた自治体・集落の取組の実態	・地域資源の崩壊が懸念される集落（森林） ・地域再生の取組が見られる集落（ワキツグ・ホドテによる交流）	平成20年2月5日～6日
熊本県小国町	社会実験に向けた支援策の方策検討	・地域再生の取組が見られる集落（定住促進・九州ツリスム大学）	平成20年2月14日



### 3. 事前面接調査の実施方法

意見交換を活発に行うため、関係者3～5名程度によるグループインタビュー形式、現地調査・聞き取り形式、ワークショップ形式などにより、調査を実施した。



関係者3～5名程度によるグループインタビュー形式



現地調査・聞き取り形式



ワークショップ形式

### 4. 事前面接調査対象地に対する質問項目

項目	質問対象者	内容
1. 人口減少・高齢化集落の現状と課題の確認	人口減少・高齢化集落の代表・住民に対する聞き取り調査 (自治体からも補足)	人口減少・高齢化集落としてあげられた地区の実態 ゴミ等の不法投棄の実態について 直接支払制度あるいはそれに類した支援制度の実施状況とその効果 集落の森林の管理実態についての現況・課題 祭事の実施状況
2. 地域の資源・産業・生活サービス・地域コミュニティの実態について(基礎データ票記述内容や地域資源等の実態・今後の可能性)	自治体、地域の産業団体、住民団体、NPOに対する聞き取り調査	生活サービス機能に関する実態と取組 市町村合併に伴う影響 行政と集落との関わりや実態把握の方法 集落存続・再生に向けた取組の状況と効果 集落毎のイベント・祭事の実態と行政支援策 森林の管理実態についての現況・課題 集落の存続・再生に向けた取組を実施する組織・人材 その他基礎データ票の空欄部分への追加調査
3. 新たな取組に関する背景と取組内容、実施効果について(新たな取組の掘り下げ・担い手の実態等)	取組の担い手に対する聞き取り調査	新たな取組を実施した背景 新たな取組の実施状況 新たな取組の効果とその要因 制度創設にともない新たに発生した課題等
4. 社会実験企画立案向けの参画意向、アイデア、課題、ニーズ等について(社会実験企画)	全体	社会実験として取り組みたい施策 取り組みを担う組織・人材 取り組みたい理由と想定される課題 実施後の評価方法や目標像

### 5. 事前面接調査対象地の調査結果

・調査を行った3地域の調査結果を次頁以降に示す。

事前面接調査 調査概要

調査対象地	調査対象者	人口動態	国土保全・地域資源	地域産業・経済	生活サービス	地域コミュニティ・交流	事前面接調査から得られた課題・ニーズ等
<p>鹿児島県薩摩川内市 (下甕島) 「新たな地区コミュニティ協議による集落の再編成」</p> <p>対象集落：A 集落 (下甕島) 高齢者率：80%以上 人口：54人</p>	<p>薩摩川内市 A 集落会長、副会長、 コミュニティ主事 I ターン定住者 診療所医師</p>	<p>薩摩川内市自体は、県下 4 番目の人口を擁する が、甕島は過疎が進行。 人口 2,536 人 &lt;人口減少・高齢化&gt; ・高齢者率 37.9%(下甕島) ・人口減少率 84%(下甕島) 働く場所がないため、戻 れない。また高校生にな ると、県内各地へ転出。 戻る人はもとより、帰省 者も年々減少。</p>	<p>豊かな海洋資源 &lt;森林面積&gt; ・面積 1.75ha/人(下甕島) &lt;地域資源データ&gt; コミュニティセンター 空き家</p>	<p>海洋深層水による商品 展開。海産物(特にキビ ナゴ)のブランド化 &lt;1 次産業増加率&gt; ・50%(H17/H7) &lt;3 次産業増加率&gt; ・89%(H17/H7) &lt;1 人当り市町村内総生産&gt; ・3.68(百万円) &lt;1 人当り平均所得&gt; ・2.25(百万円)</p>	<p>上陸はフェリー及び高 速船に限る 島内唯一の公共交通機 関は市運営のバス 下甕島では手術可能な 優良診療所も。各地区に 週に一度の診察巡回 買い物は隣の長浜集落 までバスで移動(30 分以 上)商店や新聞配達に集 会所までの宅配を依頼 生活中心都市 30 分圏外 の不便地域 ネットは公共施設まで は光ケーブルでブロード バンド化。世帯までは サービス無し</p>	<p>地域コミュニティ制度の 導入により、市町村合併の 弊害を軽減 &lt;地域リーダー・支援組織&gt; ・地域コミュニティ制度 により、各地区にコミュ ニティ主事が常駐 伝統文化の「手踊り」の継 承者は高齢化、担い手不足</p>	<p>人口減少高齢化集落に 対する総合的な生活支 援 転出者の一次帰省や来 訪者の滞在型体験学習 のための受け皿づくり 集落のブロードバンド 化推進による新たな産 業育成・生活支援 UIJ ターン者に対する 支援制度の拡充</p>
<p>宮崎県児湯郡西米良村 「中山間地域におけるワ ーキングホリデー制度に よる都市・農村交流」</p> <p>対象集落：B 集落 高齢者率：65%以上 人口：101人</p>	<p>西米良村 B 集落会長、副会長 農業従事者 JA 女性部 ふるさと研究会 米良食品</p>	<p>人口減少高齢化の著し い進展 &lt;人口減少・高齢化&gt; ・高齢者率 40.8%(3 位) ・人口減少率 85%(11 位) 年 20 人程度の UI ターン 有り。高校生になると転出 するが、その後も神楽等イ ベントで帰省</p>	<p>豊かな山あいの地域資 源 &lt;地域資源データ&gt; ・神話の里、山村文化 ・双子キャンプ施設 ・山菜食文化の充実(西米 良サーモン、イノシシ料 理等) ・21 世紀に残したい日本の 自然景観 100 選 ・棚田 100 選 ・水田 100 選 ・九州中央山地国定公園 ・神楽・語り部 不在地主化した山林の 維持管理の必要性 直接支払制度により地 域振興実施中</p>	<p>柚子・ほおずきのブラン ド化 &lt;1 次産業増加率&gt; ・70%(H17/H7)(下位 40 位) &lt;3 次産業増加率&gt; ・98%(H17/H7)(227 位) &lt;失業率&gt; ・2.5%(下位 7 位) &lt;1 人当り市町村内総生産&gt; ・5.39(百万円)(上位 10 位) &lt;1 人当り平均所得&gt; ・2.2(百万円)(下位 143 位)</p>	<p>生活中心都市から 30 分 圏外の不便地域 &lt;1 人当り商業床面&gt; ・0.87 (㎡/人)(82 位) 生活中心都市 30 分圏外 の不便地域 集落の診察巡回は月に 1 回 診療所までの所要時間 はバスで 1 時間以上 買い物は各地区で可能 (移動販売も含む) ネットは各集落までは 無線 LAN によりブロード バンド化。世帯までもサ ービス開始</p>	<p>菊池侯の「てごり(平等・ 助け合い)の精神」を継承 ワーキングホリデーによ る都市部との交流 「8 つの庄建設プロジェク ト」により、地域の自立支 援 &lt;地域リーダー・支援組織&gt; ・西米良村役場 ・黒木村長(観光カリスマ) 「神楽」「語り部」育成に よりコミュニティの結束 力強化 JA 女性部による弁当配食 サービスを組織的に 15 年実行 世代毎に活動組織が地域 づくりに参加</p>	<p>農村における相互扶助 (「てごり」の精神)の 仕組みづくり 伝統文化「神楽」「民話 の語り継ぎ」「山の文 化」の継承により、UIJ ターン・地縁コミュニ ティを結ぶ アンテナショップ・ネットを活用 した地域ブランド育成支 援 高齢化社会に適合した 農業への転換</p>
<p>熊本県阿蘇郡小国町 「九州ツーリズム大学で の人材育成と I ターン定住 希望者への職住照会」</p> <p>対象集落：C 集落 高齢者率：30%以上 人口：111人</p>	<p>小国町 C 集落代表、住民 九州ツーリズム大学 I ターン経験者 小国ツーリズム協会</p>	<p>人口減少・高齢化が進む 地域 &lt;人口減少・高齢化&gt; ・高齢者率 30.9%(63 位) ・人口減少率 92%(76 位) 九州ツーリズム大学・小 国ツーリズム協会によ る定住促進支援</p>	<p>温泉郷の再生と魅力あ る景観形成が課題 ・杖立温泉 &lt;森林面積&gt; ・面積 14.8ha/人(2 位) &lt;地域資源データ&gt; ・集落に関する景観(文化 庁指定)</p>	<p>農業担い手の人材不足 &lt;1 次産業増加率&gt; ・75%(H17/H7)(下位 81 位) &lt;3 次産業増加率&gt; ・105%(H17/H7)(上位 147 位) &lt;失業率&gt; ・3.6%(下位 21 位) ジャージー牛、黒豚を地 域ブランド化 小国杉</p>	<p>生活中心都市から 30 分 圏外の不便地域 &lt;1 人当り商業床面&gt; ・1.41 (㎡/人)(209 位) 道の駅を生活拠点化・交 通結節点化</p>	<p>九州ツーリズム大学によ る担い手育成 &lt;地域リーダー・支援組織&gt; ・九州ツーリズム大学 ・小国ツーリズム協会 集落点検調査及び直接支 払制度の活用による将来 ビジョン作成</p>	<p>九州ツーリズム大学に よる担い手育成 道の駅を活用した複合 的サービスの提供 集落点検によるビジョ ンづくり及びその実践 活動 都市・農村を結ぶコー ディネーターの必要性</p>